

開催概要

＜主催：関東運輸局山梨運輸支局＞

- 日時：令和4年11月21日（月）14時00分～16時00分
○場所：山梨県防災新館 1階 やまなしプラザ オープンスクエア
及び Web開催
○議事（1）関東運輸局のバリアフリーの取り組みについて
関東運輸局
（2）関東地方整備局のバリアフリーの取り組みについて
関東地方整備局
（3）〈講演〉聴覚障害者のバリアフリー
一般社団法人 山梨県聴覚障害者協会 事務局長 仁科 加代子 様
（4）意見交換

委員

（敬称略）

- ＜座長＞佐々木 邦明（早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 社会環境工学科 教授）
畠山 哲（一般社団法人 山梨県老人クラブ連合会 副会長）
山西 孝（社会福祉法人 山梨県障害者福祉協会 理事）
（山梨県知的障害者支援協会 会長）
小林 修（山梨車いす生活者の会 ステップアップ 代表）
小田切 浩子（一般社団法人 山梨県視覚障がい者福祉協会 理事）
仁科 加代子（一般社団法人 山梨県聴覚障害者協会 事務局長）
竹下 茂（NPO法人 山梨県精神障害者家族会連合会 理事）
星合 美紀（NPO法人 Happy Space ゆうゆうゆう 理事長）

参画（委員以外）

- 【施設設置管理者等】東日本旅客鉄道（株）八王子支社、山梨交通（株）、富士山麓電気鉄道（株）、富士急バス（株）、富士急山梨ハイヤー（株）、
（株）富士レークホテル、（一社）山梨県バス協会、（一社）山梨県タクシー協会
【関係行政機関】山梨県、山梨県警察本部、県内市町村 【その他】関東地方整備局、関東運輸局

講演

【一般社団法人 山梨県聴覚障害者協会 事務局長 仁科 加代子 様】 ＜講演題目＞「聴覚障害者のバリアフリー」

会議での発言（委員より）

【現在の取組みを継続する内容】

- ・知的障がい者は経験を積んで公共交通の利用方法を獲得するため、災害やシステム変更等で経験したことが無い時の説明を障害特性に合わせて丁寧にしてほしい。
- ・精神障がい者はご自身が何に困っているのか上手に説明できない事が障がいになるので、交通機関の対応の仕方、障がいに対しての学習等を検討して頂きたい。
- ・前方カゴ付き・ハンドル仕様電動車いす（セニアカー）でJR線への乗車ができるようにしてほしい。
- ・県道、市道沿いの空き家など、庭木や雑草が直接、道路側に枝を伸ばしたり、雑草が伸びており、通行の障害になっている。道路管理者はその対応をお願いしたい。

【検討や改善等が求められる内容】

- ・最近ではスマホを利用したチケットレスの流れになっているが、みどりの窓口や乗車駅の券売機などは残してほしい。
- ・山梨運輸支局で行っているバリアフリー教室に障がい者自身の生の声を聞くことができる福祉講話を取り入れてほしい。
- ・新しく出来た公共施設の入り口が狭く、電動車いすでは入り口へ行けない。計画段階から熟慮して造ってほしい。
- ・道路、公共交通機関、公園、施設、建物等いずれの場合でも、新設、増設、新築、改築等に関しては、必ず事前に当事者の意見を十分に聞き取ってほしい。
- ・大きい通りや幅が広い通りの車道と歩道の段差がありすぎるので歩道側を平らにしていきたい。
- ・駅や公共の建物内のエスカレーターには、「上り方面」など、進行方向の音声案内を必ず付けてほしい。
- ・音響式信号機の音が小さい箇所があります。近隣の住民のことを考慮されていることは理解しておりますが、危険を伴うので、改善を要望します。
また、設置場所によっては音響式信号機の音が鳴る時間を早めてほしい。
- ・駐車場の車止め部分に黄色などの目立つ色で目印を付けてほしい。
- ・県外からの旅行者に対して山梨は良い所だねという印象を持ってもらえるよう、タクシーや土産物店はソフト面への対応をしてほしい。
- ・エレベーターで緊急事態が起こった時の音声対応では難しい場合の対応方法を知りたい。また、見てコミュニケーションがとれるツールがあると良い。
- ・みどりの窓口縮小や駅員不在の対応として遠隔手話サービスや電話リレーサービスが使えるよう環境整備をお願いしたい。
- ・デジタル障がい者手帳「ミライロ」を知らない方が多いので、普及していければ良いと思う。
- ・自動券売機でも障害者割引対応ボタンがあると購入しやすい。
- ・精神障がい者に対する運賃割引制度の導入を東日本旅客鉄道でも取り入れてほしい。
- ・多人数用のベビーカーに赤ちゃんを乗せたまま公共交通機関の利用が出来るという周知が行き届いていないので、利用しやすい環境整備・周囲の理解協力をしてほしい。

令和4年度 千葉運輸支局バリアフリーネットワーク会議 概要

開催概要

＜主催：関東運輸局 千葉運輸支局＞

- 日時：令和4年11月25日（金）14：00～16：00
- 場所：関東地方整備局 千葉国道事務所(千葉市稲毛区天台5-27-1)及びWeb開催
- 基調講演：日本大学理工学部教授 藤井 敬宏 氏
- 特別講演：千葉県手をつなぐ育成会 岩野 明子 氏
- 議事（1）バリアフリーに関する取り組みについて
 - ・バリアフリーに関する事例紹介（鉄道・バス・タクシー事業者）
 - ・国のバリアフリーの取り組みについて(整備局・運輸局)
- （2）意見交換

委員

- ＜座長＞
- | | | |
|-------|----------------------------|-------|
| 藤井 敬宏 | （日本大学理工学部教授） | （敬称略） |
| 本宮 敏雄 | （千葉県身体障害者福祉協会 理事長） | |
| 今野 正隆 | （千葉県視覚障害者福祉協会 副会長） | |
| 朝香 孝広 | （千葉県聴覚障害者協会 活動運営委員会 総務支部長） | |
| 岩野 明子 | （千葉県手をつなぐ育成会 副会長） | |
| 鴨 省次郎 | （千葉県精神障害者家族会連合会 副理事長） | |
| 伊藤 忠彦 | （千葉県自閉症協会 理事） | |
| 渡辺 和雄 | （船橋市老人クラブ連合会 会長） | |

参画(委員以外)

- 【施設設置管理者等】東葉高速鉄道(株),東日本旅客鉄道(株),京成バス(株),船橋新京成バス(株),ヒノデ第一交通(株),京成タクシー船橋(株),
(一社)千葉県バス協会,(一社)千葉県タクシー協会
【関係行政機関】千葉県、市川市、習志野市、八千代市
- 【その他】関東地方整備局、千葉国道事務所、関東運輸局

講演

- ＜基調講演＞【日本大学 理工学部 教授 藤井 敬宏 氏】「心のバリアフリーー我孫子市での取り組みー」
＜特別講演＞【千葉県 手をつなぐ育成会 副会長 岩野 明子 氏】「バリアフリーについて」

バリアフリーの取り組み等

- 【東葉高速鉄道 株式会社】駅のバリアフリー 内方線点状ブロック・多機能トイレの整備、車両のバリアフリー 他
【京成バス 株式会社】ノンステップバス、高速バスバリアフリー車両、車両の安全機器、運転士教育 他
【ヒノデ第一交通 株式会社】ママサポートタクシー、ユニバーサルデザインタクシー・社内研修 他

会議での発言（委員より）

- ・第1種身体障害者または第1種知的障害者割引のICカードが導入を予定（本人と介護する任意の1名）していることから、障害者が公共交通機関の利便性が進んでいると感じている。
- ・駅のトイレに障害者用ユニバーサルベットの設置して頂きたい。
- ・鉄道駅の自動改札機において、ICカードのタッチ部分が車椅子利用者にとって高く、タッチしづらいので側面につけて頂きたい。
- ・車椅子でホームを移動する際に点字ブロックを避けようとするとうホームギリギリに通行してしまい、怖いと感じたので、ホームドアが全ての駅に整備されることを期待している。
- ・身体障害者割引及び知的障害者割引はあるが、精神障害者への割引がないので、導入をして頂きたい
- ・バスを利用する際に、車いすやベビーカーが固定する前に動いてしまうことがあるので、利用者の方に固定するお手伝いをして頂きたい。等

令和4年度 東京運輸支局バリアフリーネットワーク会議 概要

開催概要

- 日時：令和4年11月28日（月）14:00～16:00
- 場所：品川区立荏原平塚総合区民会館「スクエア荏原」
1階イベントホール
- 議事：○国のバリアフリーの現状と取組について
（関東運輸局、関東地方整備局）
○関係機関におけるバリアフリーの取組について
（京浜急行電鉄株式会社、東京都福祉保健局）
○意見交換等

委員

（敬称略）

- <座長> 森本 章倫（早稲田大学 理工学術院 教授）
小西 慶一（公益社団法人東京都身体障害者団体連合会 会長）※代理出席（佐久間事務局長）
有山 一博（公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟 福祉事業部長）
笹川 吉彦（公益社団法人東京都盲人福祉協会 会長）
三好 由加（社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 東京都手をつなぐ親の会 施策部会長）
後藤 弘太郎（公益社団法人東京都老人クラブ連合会 副会長）
船木 陽介（一般社団法人東京精神保健福祉士協会 理事）

参画（委員以外）

【施設設置管理者等】バス事業者13者、鉄道事業者9者 【関係協会】一般社団法人東京バス協会、一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会
【関係行政機関】警視庁、東京都、区市町村22者、関東地方整備局、関東運輸局

バリアフリーの取組等

京浜急行電鉄株式会社：バリアフリー対応（駅、車両）、駅係員における対応強化、お客様への情報提供・呼びかけ、今後の取組
東京都福祉保健局：東京2020大会を契機としたバリアフリー化の主な進捗状況、トイレづくりハンドブック、10年後を見据えたバリアフリーの推進

会議での発言（委員より）

- ・ 飯田橋駅東口の歩道橋は3区に渡って設置されているためエレベーターの設置がなかなか進まなかったが、東京都にも要望を行い令和6年度に設置されることになった。
- ・ ヘルプマークに反射板を取り付けるよう要望している。白地のハートと十字マークを蛍光塗料とすることを検討していただいている。
- ・ 関東地方でも障害者用ICカードが導入されることはありがたいが、第1種身体・知的障害者のみで、第2種知的障害者が除外されていることが残念。第2種の方は介助者なしで移動することが多い分、支援を必要としている。ぜひ対象を拡大していただきたい。
- ・ 無人駅は説明が貼ってあるだけでどうしたらいいかわからず戸惑う。もっとわかりやすい環境の整備が必要。ガイドラインはあるが、もっと具体的なことを整備していただきたい。
- ・ 都内の盲学校周辺の鉄道機関にホームドアを設置してもらいたいと働きかけている。久我山駅と西八王子駅には全くホームドアがないため、早々にやってもらえるよう強く要求したい。
- ・ 心のバリアフリーは記憶に残らなければ意味がないので、バリアフリー教育は意識が定着するまで徹底的にお願いしたい。また、都内でバリアフリー教育をしている学校は数少ない状況なので、東京都にはバリアフリー教育を定着させてインクルーシブ教育の環境づくりをお願いしたい。
- ・ JR常磐線快速の車内放送のように、輸送障害時のアナウンス等に「やさしい日本語」を取り入れてもらえると、知的障害者や認知機能が衰えた高齢者等にもわかりやすい。
- ・ 年々便利で安全になっているが、年を取ると理解力が衰え世の中がどうなったかがわからなくなってしまう。新しくなったことを理解する活動にご協力いただきたい。
- ・ パニック障害等があると人混みの圧迫感や視線が発作や恐怖感に繋がるので、在来線でも優先指定席や座席が一方方向を向いた車両等を拡充してもらえると安心して乗ることができる。
- ・ 路線バスの停留所は狭く屋根やいすもないところも多いが、薬を飲んでいる精神障害者や高齢者は疲れやすいので、地理的に難しいところもあるとは思いますが改善して欲しい。
- ・ 2025年にデフリンピックの東京都開催が決まったので、フラッシュライトをトイレに付ける等、聴覚障害者が何かあった時に見てわかる情報をさらに増やして欲しい。
- ・ 各交通機関が様々な障害を持つ方々の意見を研修等に取り入れることは非常に良い取組。また、本会議のように非常に多くの方々と情報共有できる場が重要。

開催概要

＜主催：関東運輸局神奈川運輸支局＞

○日時：令和4年12月9日（金）14:00～16:15

○場所：神奈川運輸支局3階大会議室

○講演：・東海大学建築都市学部 教授 梶田 佳孝 氏
・神奈川中央交通株式会社
お客様サービス担当 課長 松本 大造 氏

○議事（1）意見交換
講演、各委員からの意見や提案に関する意見交換
（2）国におけるバリアフリーの取り組み
（関東運輸局、関東地方整備局）

委員

（敬称略）

＜座長＞梶田 佳孝（東海大学建築都市学部 教授）
外山伊知郎（公益財団法人 横浜市老人クラブ連合会 総務課長）
内藤 則義（公益財団法人 神奈川県身体障害者連合会 会長）
鈴木 孝幸（特定非営利活動法人 神奈川県視覚障害者福祉協会 理事長）
井上 良貞（一般社団法人 神奈川県聴覚障害者連盟 副理事長）
坂田 信子（横浜市心身障害児者を守る会連盟 事務局長）
吉富 多美（特定非営利活動法人 神奈川子ども未来ファンド 副理事長）
清水 弘子（特定非営利活動法人 かながわ福祉移動サービスネットワーク 理事長）

参画(委員以外)

【施設設置管理者】鉄道事業者10者 バス事業者10者 タクシー事業者5者
【関係団体】一般社団法人神奈川県タクシー協会 【関係行政機関等】神奈川県、神奈川県警察本部、横浜市、川崎市、相模原市、平塚市、茅ヶ崎市、鎌倉市、藤沢市、逗子市、秦野市、厚木市、大和市、座間市、綾瀬市、葉山町 【国土交通省】関東地方整備局、関東運輸局

講演

【東海大学建築都市学部 教授 梶田 佳孝 氏】「コロナ禍のバリアフリー」
【神奈川中央交通株式会社 お客様サービス担当 課長 松本 大造 氏】「『コロナ禍のバリアフリー対策』の実情について」

バリアフリーの取り組み等

【神奈川中央交通株式会社】感染防止対策として、車内換気装置の使用、一部の窓を開けての運行、遮蔽用のビニールカーテンを設置、一部座席の使用中止、手すりや吊り革などの消毒、マスク着用のご協力案内掲示を実施。ノンステップバスの導入率は66%。
国の接遇研修モデルプログラムを基に、運転士向けに「接遇マニュアル」を作成し、「旅客接遇総点検」を実施。実務において、観察、確認、声掛けを通じて利用客との問題を事前に解決できるよう「心のバリアフリー」を心がけている。

会議での発言（委員より）

- ・多くの駅でホームドアが設置されて、大変良いと思う。駅とホームとの間が広く空いている駅は、改善をお願いしたい。
- ・話せる指定席券売機について、ろう者でも操作しやすいよう改善をお願いしたい。新規機能を開発する前に、当事者団体に意見を求めてほしい。
- ・ろう者は平塚駅西口改札が無人のため東口まで行かなければならないが遠すぎるので、西口を有人化してほしい。中山駅の車いすの動線を改善してほしい。
- ・2025年にデフリンピックが開催される。神奈川にも観光招致などで外国人が多数見学に訪れるので、バリアフリーの環境づくりを皆様と一緒に進めていきたい。
- ・歩道が車道側に傾斜になっている場所があり、車いす利用者は通行が大変難しい。あまり傾斜を作らないようにということを考えなければならない。
- ・植栽の成長により、公園や歩道の敷石が割れていたり、でこぼこが増えていたりして、障害者や高齢者がつまずいて転倒することがある。
- ・バリアフリーフェスタかながわを3年ぶりに開催し、来場者が多くのバリアを当事者として体験して、多様性への気づきがあった。
- ・コロナ禍により、日常的に支援を必要としている人が孤立無援の状態となった。外出自粛は急速な衰えをもたらし、引きこもり状態を作ったといえる。
- ・住民が主体的に運行計画を立てる、たすけあいの地域交通づくりが各地に広がっている。運転研修が公費で提供されるなどの取り組みが増えている。